

～富士山学習の歴史～

平成4年度 富士宮第二中学校で富士山学習が始まる

平成10年度 総合的な学習の時間に位置付けられる

平成10年度（平成11年2月5日）
第1回富士山学習発表会が市民文化会館を会場に行われる

平成20年度 富士山学習PART II 発表会として学びの過程を大切にす
る活動となる

平成29年度（平成30年1月27日）
第20回の節目を迎える



富士山学習 PART II 発表会 富士山学習は20回の節目を迎えました

1月27日(土)富士宮市民文化会館を会場に、富士山学習PART II 発表会が開催されました。20回の節目を迎えた今回は、大宮小学校の児童と、富士山学習の発祥校富士宮第二中学校の生徒がステージ発表を行ったほか、「富士山学習20年の歩み」のビデオ放映、シンポジウム「富士山学習の未来」が行われました。また、展示室には市内全ての小中学校の学びの成果が展示され、来場者は子供たちの説明に熱心に耳を傾けていました。

■ステージ発表に先立ち挨拶に立った須藤市長の挨拶(抜粋)を紹介します

皆さんとともに市民憲章を唱和し、大富士中学校の生徒の皆さんによる「富士山」の合唱を聞くことで、富士山の麓富士宮市に住むことの素晴らしさ、ありがたさを改めて感じました。

石川啄木の歌に「ふるさとの山に向かひていうことなし ふるさとの山はありがたきかな」という歌があります。私たちのふるさとの山は、富士山です。この山に向かって私たちは、ただただ、ありがたい、ありがたいと思う気持ちでいっぱいですね。

富士山は、私たちの誇り。この富士山学習を行うことは、とても大切なことです。

さて、富士山が世界遺産に登録されてから、早いもので4年が経過しました。そして、今年「富士山学習PART II 発表会」は記念すべき20回目を迎えました。これまで、先輩が取り組んできた学びが脈々と引き継がれ、こうして20回目の発表会を迎えたことは大変素晴らしいことであり、先生方の熱いご指導と児童生徒の皆さんの汗と涙の結晶です。先生方、児童生徒の皆さん、そして関係者の皆さんに心より敬意を表します。

今後も富士宮市の文化、歴史、自然、産業等を深く追究し、郷土に誇りを持ち、郷土愛を育てていただきたいと思います。

皆さんが学習してきました成果は、今後もしっかりと保存するとともに、市民はもとより富士宮市を訪れた人々にご覧いただくための何らかの方法を考えていきたいと思っています。

この富士山学習は、富士山世界遺産センターのアカデミックな資料に匹敵する素晴らしい富士山資料であり、皆さんの先輩や皆さんの血の通ったかけがえのない資料ですので、大切に大切にしていきたいと考えています。富士山学習PART II で学んだ皆さんが、この発表会の経験を生かして成長されるとともに、今後、益々の活躍を期待します。